

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	函館短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ハコダテタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	特別研究
	学部・研究科等名	食物栄養学科
	担当教職員名・役職	澤辺桃子(教授)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	2
受入企業等数	2	
受入企業等名	湯の川プリンスホテル渚亭、株式会社ドリームファクトリー	
インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1年次終了時の春休み(2~3月)に9~10日間の実習として実施している。栄養士養成課程の1年次に学んだ食に関する知識を生かし、ホテル厨房での調理補助や食品製造業での作業補助に従事するとともに、各業種に関係する施設などの見学も含まれる内容である。1年次の11月頃に1年次生全員に対して説明会を開催し、参加希望者を募集する。希望者は、12~1月に受け入れ企業との面談を実施し、参加者を最終決定する。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学の該当科目「特別研究」は2年次科目であるが、学事歴の弾力化を適用して、1年次の春休み期間(2~3月)にインターンシップを実施している。受け入れ企業による書類審査及び面談にて許可された学生がインターンシップに参加し、事後学習を開始した段階で、「特別研究」の履修登録を行う。成績については、企業からの評価表と事前事後指導を担当した教員により評価し、2年次後期に成績確定、単位修得となる。	
3-1. インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習は、対象学年全員を対象としたインターンシップ説明会を11月に開催する。この時点で受け入れ企業が決定していることから、企業概要を含めて説明する。その後、参加希望者を集め、教員による社会人マナー並びに履歴書と志望理由書の作成指導・提出、受け入れ先の書類審査を受け、面談予約(電話対応指導実施)、何を学びたいかを記載した目標シートを持参し、担当者と面談する(面談指導実施)。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中は、持参している実習ファイルに日報を記載し、指導担当者の確認を得るようにしている。期間終了後は、教員指導の下、学んだ内容をまとめたプレゼンテーション資料を作成し、インターンシップ報告会、新入生オリエンテーション時および2年次終了時点で開催される学習成果発表会において報告し、報告書を作成して、受け入れ企業に提出する。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間終了後に受け入れ企業担当者に記入していただく、個人別評価シートを準備している。学生と指導教員で実施するインターンシップ反省会にて、学生視点からの意見や要望を聴取するとともに、返送された評価シートを学生と指導教員で共有し、学習の成果と卒業までに身につけたい能力等を確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	9～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1年次授業、定期試験終了時となる2～3月の春休み期間に実施している。あらかじめ学生および受け入れ企業との日程調整を指導教員がおこなうことで、まとまりのある連続した9～10日間の実施期間を確保している。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
問い	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	9～10月頃に指導教員が受け入れ可能企業を訪問し、担当者と前年度の反省等を含む意見交換を実施し、事前の学生指導の改善を行うとともに、企業から改善策などを含めたインターンシップ期間中のスケジュールの提出を依頼している。また、企業は、インターンシップ実施前に希望学生の書類審査および面談を実施し、それらの状況等についても指導教員と連絡を取り合い、相互の理解とより良い実施に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://cj-web.hakodate-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?value(risyunen)=2018&value(semekikn)=1&value(kougicd)=S2016093&value(crclumcd)=SB20200000
	大学等名	函館短期大学
	担当部署名	食物栄養学科

▼ 合 わ せ 先	担当者役職名	教授
	担当者氏名	澤辺桃子
	電話番号	0138-57-1800
	メールアドレス	sawabe@hakodate-jc.ac.jp